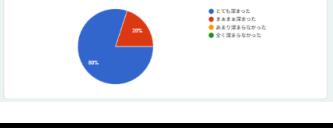
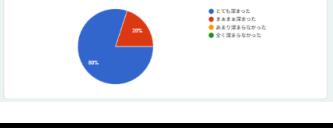
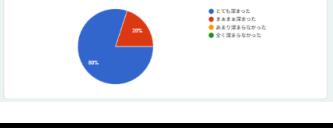


令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 中間活動報告

記入日：令和7年11月19日

団体名	With Sense	担当者氏名	近藤由依
-----	------------	-------	------

イベント名	Sensory Book Lounge@Community & Libraryコトノハ												
実施期間	令和7年8月19日（火）												
場所	Community & Libraryコトノハ												
参加人数	一般9名／コトノハ店主1名／団体メンバー4名												
イベント内容 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 感覚にやさしい読書空間Sensory Book Lounge センサリーアイテム・センサリートイ展示 感覚の多様性ミニ解説 感覚の多様性関連書籍の読み聞かせ＆ディスカッション    												
事業を実施したことによる効果（参加者の感想など）	<ul style="list-style-type: none"> 低刺激でゆったりとした空間や、参加者・運営メンバーとの対話を楽しんでいただいた（長時間滞在される参加者が多かった） 特に読み聞かせ＆ディスカッション会は、対話を通して共感や理解、人と人とのつながりなどが生まれる濃い時間になった 「こんな活動を待っていた！」「空間も参加者・運営メンバーの雰囲気も居心地が良く、感覚について学び考えることができる良い機会になった」などのコメントをいただいた 特異な感覚特性を持つ参加者に向けた、次回以降のイベント運営に活かせるヒントをいただくことができた <p>※イベントアンケート結果（回答数：5）（一部抜粋）</p> <table border="1"> <tr> <td>3. イベント全体の満足度を教えてください</td> <td>グラフをコピー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>とても満足している まあまあ満足している あまり満足していない 全く満足していない</td> </tr> <tr> <td>4. イベントでは安心して滞在・交流できる雰囲気を感じましたか？</td> <td>グラフをコピー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はい いいえ どちらともない・分からぬ</td> </tr> <tr> <td>5. イベントを通じて、感覚の多様性に関する理解は深まりましたか？</td> <td>グラフをコピー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>とても深かった まあまあ深かった あまり深くなかった 全く深くなかった</td> </tr> </table>	3. イベント全体の満足度を教えてください	グラフをコピー		とても満足している まあまあ満足している あまり満足していない 全く満足していない	4. イベントでは安心して滞在・交流できる雰囲気を感じましたか？	グラフをコピー		はい いいえ どちらともない・分からぬ	5. イベントを通じて、感覚の多様性に関する理解は深まりましたか？	グラフをコピー		とても深かった まあまあ深かった あまり深くなかった 全く深くなかった
3. イベント全体の満足度を教えてください	グラフをコピー												
	とても満足している まあまあ満足している あまり満足していない 全く満足していない												
4. イベントでは安心して滞在・交流できる雰囲気を感じましたか？	グラフをコピー												
	はい いいえ どちらともない・分からぬ												
5. イベントを通じて、感覚の多様性に関する理解は深まりましたか？	グラフをコピー												
	とても深かった まあまあ深かった あまり深くなかった 全く深くなかった												

令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 中間活動報告

記入日：令和7年11月19日

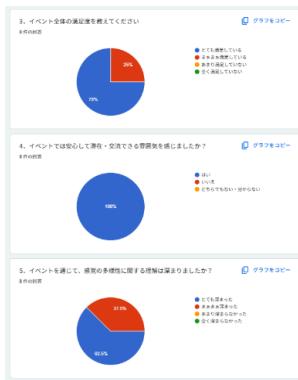
団体名	With Sense	担当者氏名	近藤由依
-----	------------	-------	------

イベント名	Sensory Book Lounge@金沢学生のまち市民交流館
実施期間	令和7年9月20日（土）
場 所	金沢学生のまち市民交流館
参加人数	一般9名／団体メンバー4名
イベント内容 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 感覚にやさしい読書空間Sensory Book Lounge センサリーアイテム展示 センサリートイ制作体験 感覚過敏の追体験（VR体験） 感覚の多様性ミニ解説 感覚の多様性関連書籍の読み聞かせ＆ディスカッション     

事業を実施したことによる効果（参加者の感想など）

- ・VRやセンサリートイは初めて触れる参加者も多く、感覚過敏の世界を疑似的に体験したり、自分にとっての心地良い感覚を模索したりすることを通して、より深い感覚の多様性理解につなげていただいた
- ・前回イベントでいただいた「よりプライベートに利用できる個室もあると良い」という意見を形にした。「落ち着いて過ごせて良かった」と喜んでいただくことができた
- ・「感覚過敏の方から実際に話を聞くことができ、大変有意義だった」「こういう機会があることで、もっと感覚過敏についての理解が世の中に広がってほしい。また、当事者の方たち同士でつながれるきっかけにもなってありがたいと思う」などのコメントをいただいた

※イベントアンケート結果（回答数：8）（一部抜粋）



令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 中間活動報告

記入日：令和7年11月19日

団体名	With Sense	担当者氏名	近藤由依
-----	------------	-------	------

イベント名	Sensory Book Lounge@金大祭2025
実施期間	令和7年11月1日（土）2日（日）
場 所	金沢大学角間キャンパス 総合教育棟 D9 講義室
参加人数	一般158名／団体メンバー4名
イベント内容 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚にやさしい読書空間Sensory Book Lounge ・センサリーアイテム・センサリートイ展示 ・センサリートイ制作体験 ・感覚の多様性啓発ポスター展示 

事業を実施したことによる効果（参加者の感想など）

- ・居住地も属性も関心も全く異なる方々に足を運んでいただき、「感覚の多様性」や弊団体について広く知ってもらえる機会になった
- ・センサリートイの人気は高く、「感覚の多様性」について低関心層を惹きつけ、高関心層へと引き上げるツールになることが分かった
- ・センサリーアイテムの展示や感覚の多様性関連書籍の展示を増やしたこと、参加者が企画の感想や感覚特性に関する話などを自由に描くことができる「何でも呟き黒板」を用意したことを評価する声も多かった
- ・「とてもリラックスして過ごすことができた」「様々なアプローチから感覚の多様性について考えられたのが興味深かった」「小麦粉ふうせん／センサリーボトル癒される」などのコメントをいただくことができた

※イベントアンケート結果（回答数：4）（一部抜粋）

